

## JENDL-1 積分評価W.G. 第1回会合議事録

日 時：1976・4・9, 1.30 pm - 5.30 pm

場 所：原研本部第34会議室

出席者：菊池, 長谷川, 中川, 成田(原研), 飯島, 亀井(NAIG), 山本,  
伊東(日立), 関, 宝珠山, 佐々木(MAPI), 松延(住友), 大竹  
(PNC), 五十嵐(オブザーバー)

- 配布資料 (1) ETOXによるENDF/B3のCross check(MAPI)  
(2) 21 benchmark 炉心の内容(長谷川)  
(3) サンプル・ドブラー実験(山本)  
(4) Pu 同位元素反応度(亀井)  
(5) Snell experiments 資料(飯島)

### 議 題

1 JENDL-1 現状説明 中川, 五十嵐

A) JENDL-1の3月末の状況について説明された。

- $^{235}\text{U}$ ,  $^{238}\text{U}$ ,  $^{239}\text{Pu}$ ,  $^{240}\text{Pu}$ ,  $^{241}\text{Pu}$ ,  $^{241}\text{Am}$ ,  $^{234}\text{U}$ はfile上の trivial errnを別として完成している。
- $^{232}\text{Th}$ ,  $^{233}\text{Pa}$ ,  $^{239}\text{Np}$ は検討中
- $^{55}\text{Mm}$ ,  $^{10}\text{B}$ ,  $^{66}\text{Li}$ , H, Cは完成
- Cu, Moはisotope毎は完成, naturalへの規格化が未完
- O,  $^{11}\text{B}$ はENDF/B-4を採用と決定
- $^7\text{Li}$ はENDF/B-4を一部修正作業中
- Naは $\mu\text{L}$ を除き完成
- Fe, Cr, Ta, Ni, Al, Siは第1次評価者の結果に問題があり, JENDL-CGで検討中
- 全体として4月中には完成できる。

B) 比較プロットについて

- ENDF/B-4 との比較プロットを全員に配布する方向で検討
- 実験値との比較も 8 月位までに整備する

2 炉定数作成の問題点

A) ETOX の Cross check      資料(1)      宝珠山

- 日立, 原研の結果と MAPI の結果を比較すると, 共鳴領域で大きく食い違い。最大で 10% の差も生じる。また Self-shielding factor は 30% も異なる。
- さらに検討する為 CRC の ETOX の結果を大竹氏が加える。
- JAERI からは RESEND を通した結果を加える。
- 以上に基いて MAPI で 4 月一杯を目途にさらに検討する。

3 ベンチマーク炉心の設定

A) 原研における 21 clean cores の number density と形状の説明

資料(2)      長谷川

B) FCA 炉心について      菊池

6-1, 6-2, 6-3      Monjn mock-up

5-1, 5-2      JOYO mock-up

4-1, 4-2, 4-3       $k_{\infty}=1$

3-1, 3-2      黒鉛を含む

2-2, 2-3      ポリエチレンを含む

etc が利用可能である。この内からさらに選定する。

C) Doppler 実験      山本

解析上にも問題があるので, 適当なもの(解析しやすいもの)をさらに検討する。

D) Pu 同位元素反応度 亀井

ZPPR-2, FCA V-1, V-2, N-1, MZA, MZB etc で測定されている。

時間の都合で次回に検討する。

E) Snell Experiments 飯島

$\sigma_m^{928}$  に対する情報が期待できる。解析は容易なので行なう事にする。

F) D の不等方性

次回以後、原研の飯島勉氏、白方敬章氏に講義をしてもらう。

#### 4 次 回

○ 5月10日(月) 東京

#### ○ 宿 題

○ JENDL-1 の完成 CGメンバー

○ ETOX の cross check の結果をつめる

MAPI

○ FCA 炉心の決定

原 研

○ Doppler 実験をさらに検討

日 立

○ JENDL-1 に収納されていない核種の中で

NAIG

Benchmark に必要なものを検討する。